

景観創造プロジェクト「八幡界隈のまちなみ景観の将来像を考える」VOL.2」活動報告概要

テーマ…門前町らしい歴史と伝統が薫る、古き良き懐かしい街並み景観の創造

もりおか八幡界隈まちづくりの会

I. 歴史ある町「もりおか八幡探検フォーラム!!Vol.2」による景観点検(30.12.8)

景観創造プロジェクト
歴史ある町「もりおか八幡探検フォーラム!!VOL.2」
平成30年12月8日(土) 参加者募集
インスタ映え景観を探せ!!

インスタ映え景観があちこちにあるよ
というウワサの八幡界隈
今回の探検フォーラムで
みんなで「インスタ映え景観」
を探しまわりながら



- 参加者数～21名(うち高校生3名、大学生1名)、ほかスタッフ含み計24名
- 実施手法～LINEグループでの共有写真とポストイットを活用したKJ法によるワークショップ
⇒4つのグループに編成 ⇒ 街歩き&写真撮影 ⇒ ワークショップ ⇒ 発表会

【評価】

- 総体としては、門前町らしい、あるいは歴史と伝統が薫る景観にマッチした建物が比較的多く、新しい建物ほど、周囲との景観に配慮した造りになっているということがわかった。
- また、今回は「インスタ映え景観」を着目点として街歩きを行ったが、この結果、「突拍子もない景観」は極めて少なく、むしろ、まちなみにうまく溶け込むような景観でありながらも、写真にすると「よく映える」景観が多く見受けられた。
- 一方で、築後年数が長い民家や空き店舗、周囲の植え込みが乱雑な状態で放置されている、家財道具が街路に乱雑にはみ出している、などの課題も見受けられた。

良い例～南部曲がり家風の家



悪い例～枯れた植物



II. 門前町景観まちづくりプラン … リーフレット配布



景観における歴史的利用のイメージ

歴史的な街路景観地区で使用できる色彩

【取組みポイント】

- 統一意匠の門灯整備
夜道をゆく人にあたかみのある灯りを提供し、門前町の統一感を形成する
- 門前町らしい表情の創出
商店や住宅の表通り側の見せ方を工夫…修景整備
- 建物や看板の色彩
使用可能な色彩のガイドラインを明示
- 建物や工作物は通りを圧迫しない高さ・ボリュームに

III. 今後に向けた取組み課題

1. 門前町としての景観イメージの共有

- 景観フォーラム継続実施によるイメージ共有
- 「まちづくりかわらばん」を活用したイメージ伝達
- リノベーション物件の見学会の継続実施 ⇒ 八藝館と連携

2. 門灯設置を切り口とした景観形成と深度あるイメージ共有

- 統一意匠の門灯設置場所の拡大
- 「門灯通り」の昼、夜の風景をイメージフォトとして拡散

3. 見せ方の工夫からリノベまでの各戸別取組みへのアシスト

- 「門前町景観まちづくりプラン」を広く周知
- リノベの実務指導 ⇒ (株)八幡創活サポートセンターと連携